



● 18時10分 雨

a 20歳代 男性 普通乗用

b 60歳代 男性 歩行者

片側一車線道路をヘッドライトを下向きにして走っていた。対向車線は渋滞でのろのろ走ってくる状態であった。対向車cのライトをまぶしく感じながらすれ違った直後、右から左に向かう相手を発見して急ブレーキをかけたが遅く、ぶつかってしまった。

bは渋滞の車が切れたので、渡り始めたが車は遠くにあったので自分に気づいて止まってくれると思ったがひかれてしまった。

原因：雨で路面はぬれて光っていたし、対向車のヘッドライトで幻惑が生じ、対向車の後ろを渡る歩行者が見えない状態で運転していた。

対向車の後ろを渡ってくる歩行者をはねる事故は頻繁に起こっている。